

ハイマート Heimat

ぐんま日独協会会報

1992年10月30日 発行

6 ドイツ
大使歓迎号

発行者 平形 義人

発行所 ぐんま日独協会

〒371 前橋市三俣町3-11-12

☎0272-31-7212 FAX 0272-32-4082



・ぐんま日独協会4周年大会

・平成4年5月31日

・群馬会館正面玄関にて

□ハイマート6号の主な内容

- ドイツ大使歓迎大会—ハイライト
- ピーティヒハイム・ビッシンゲン市と草津町の交流を祝して
- 「沼田ドイツ語会」ドイツ語講座のライマン先生
- 会員の動向と投稿 ●タウトの竹皮編み
- ドイツ大使からの礼状
- 事務局だより
- クリスマスの集いのご案内

お知らせ

ぐんま日独クリスマスの集い

- 日時 '92. 12. 13 (日) PM 2~4:30
- 場所 群馬会館地下「第一会議室」
- 会費 2千円(当日受付)
プレゼント(千円相当)
各自1個御持参のこと
- 申込み 11月末締切り、電話可
- 5分間スピーチ希望者は受付まで
- 駐車場は県庁・市役所をご利用下さい。

題字：平形義人会長 表紙写真：石井直人



WILHELM HAAS 大使夫妻を
お迎えして

ぐんま日独協会々長 平形 義人

ドイツ連邦共和国大使W・HAAS 大使夫妻をお迎えして、ぐんま日独4周年の行事を催すことができましたことは、長い間の会員皆様様の御骨折の結晶と厚く感謝申し上げます。

お忙しいにも拘らず、大使夫妻はぐんま日独のために群馬に3泊4日滞在され、群馬への理解を大変深められてお帰りになられた。その次第を次に略記し、御報告したい。

第1日（5/29金）伊香保温泉金太夫旅館の貴賓室に投宿され、登坂渋川市長、羽鳥議長、深井伊香保町長、堀越議長、木暮理事夫妻、須郷理事、と私他が歓迎懇談。

第2日（5/30土）伊香保国際カンツリークラブにてゴルフ。雨天にも拘らず、大使夫妻共に赤城コースで41の好スコア。

第3日（5/31日）ローヤルホテル・サンセット・ルームにて、大使夫妻、シュルテ参事官、日独協会（財）代表藤田真之助夫妻歓迎昼食会、関口、木暮、中村、土屋、佐藤、平形出席。13:30日独両国旗の翻る群馬会館に至り、正面玄関に於て記念撮影、大理石の間にて記念大会、総会、懇親会が催された。大使の講演、小寺群馬県知事の祝詞は別記の通りで、藤田先生からも御懇篤な激励の言葉を頂きました。本会からは藤川喜子作シルクフラワーを贈呈し、又須郷登世治理事が苦心翻訳した「ドイツ大写真集日本語訳版」のカラーコピーした大冊を大使に親ら贈呈、大使から高い賞讃を受けた。之は本会の名誉でもあります。

総会は角田副会長議長となり、決算、予算、会の方針が議決され、役員改選が行なわれた。会長には不肖私が再選されたが、日・独両国の地位が近年益々世界に重きをなす時、老骨では如何かと思いますが、どうぞよろしく皆様様の御協力御後援をお願いします。

懇親会は沼田御逗留中のA・ライマン先生のスライド映写、大使館提供のドイツ統一のビデオ上映もあり、大使夫人はバラ園等市内見物に田口理事案内でお誘いました。

18:30より「大使を囲む夕」がロイヤルの真珠の間で開催され、最後にマイクに向ってハース大使が「明日からは群馬の大使を兼任させていただきます」と讃詞を頂き、知事代理横沢課長をはじめ出席者全員感動と興奮に包まれた。

第4日（6/1月）9:00藤島前橋市長を表敬訪問。大使は心から前橋市制百周年を祝された。9:30小寺群馬県知事を表敬訪問され10:00公用車で高崎駅より新幹線で急ぎ帰京された。時間がなくなり、高崎市表敬訪問が出来なかったことは、強い御関心を示して下さった松浦高崎市長をはじめ関係の皆様へ感謝を以て御詫びさせていただきます。（左上写真は春の叙勲にて、「勲五等瑞宝章」を受けられた平形会長へ会から鈴木麻祐子ちゃん・小山愛里子ちゃんが花束贈呈。尚、後日、会より記念品を贈呈いたしました。）



1992・5.29 於 伊香保温泉 ホテル金太夫

◆W.ハース大使歓迎◆ ぐんま日独協会4周年大会

1992. 5. 31

（於群馬会館 総員集合 記念撮影 正面玄関前）

1) 式次第

PM 2:00 【大会】群馬会館1階〈大理石の間〉

- 1 一同着席
- 2 国歌
- 3 会長挨拶
- 4 W.ハースドイツ連邦共和国大使挨拶
- 5 群馬県知事祝詞
- 6 藤田（財）日独協会代表祝詞
- 7 来賓紹介
- 8 記念品贈呈

- 「Deutschland 写真集」日本語版 須郷登世治訳
- シルクフラワー コサージュ 藤川 喜子作

：ドイツ・フォーラム：

- 講師 W.ハース大使ご夫妻
- Dr. W.シュルテ参事官
- 藤田真之助博士ご夫妻

※終了後 来賓は広間へご案内

PM 3:00 【総会】

- 1 議長選出
- 2 経過報告
- 3 会計報告 ①平成3年決算報告 ②平成4年予算案
- 4 役員改選
- 5 その他

PM 3:40 【懇親会】

PM 4:30 閉会



1992. 5. 31 懇親会風景（於群馬会館）

祝 辞

群馬県知事 小寺 弘之

本日ここに、ドイツ連邦共和国ウイルフヘルム・ハース駐日大使ご夫妻及び、ドクトル・シュルテ参事官の御臨度のもと、「ぐんま日独協会」四周年記念大会が開催されるに当たり、一言お祝いを申し上げます。

ドイツ連邦共和国と本県は、これまでも医学、芸術、スポーツ等の様々な分野で、長い交流の歴史を有してまいりました。この友好関係を一層発展させるため、「ぐんま日独協会」におかれましては年々組織を拡大され、実に幅広い交流活動を県内各地で活発に展開されており、ドイツ連邦共和国と本県との友好促進に大きな貢献をいただいているところであります。

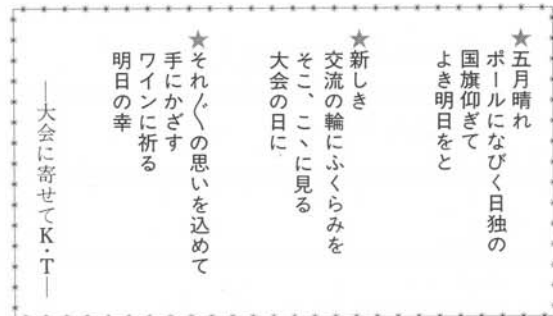
こうした着実な活動により、県民の日独友好親善に対する気運が、これまで以上に盛りあがってまいりましたことは、誠に喜ばしい限りであり、この間における平形会長さんをはじめとする関係皆様方の御努力に対し、深甚なる敬意を表すものであります。

また先般、知事就任後初の外遊の地としてドイツ連邦共和国を訪ねた際には、心温まる歓迎をいただき、心から感謝申し上げます。今回の訪問を機会に両国の信頼関係が益々深まったことと、強く確信いたしておりますが、さらに一層積極的な交流活動の必要性を痛感いたしました次第であります。

県といたしましても、急速に進展する国際化の中で、産業、経済はもとより、学術、文化、スポーツなどあらゆる分野にわたる国際交流を、皆様と一体となって、推進していきたいと考えております。更にこれからの国際交流を幅広く展開していくにあたっては、民間の主体的・創造的活動がその中心的な役割を果たす必要があり、こうした活動の中核的組織として、財団法人群馬県国際交流協会を設立し、業務を推進しているところでありますが、今後とも格別の御協力をお願い申し上げる次第であります。

終わりになりますが、ドイツ連邦共和国と本県との交流が益々活発に行われ、末永い友情が継続することを御祈念申し上げるとともに、貴協会の一層の御発展と御列席の皆様のお多幸をお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

平成4年5月31日



ハース大使に日本語訳「ドイツ写真集」を贈呈する 須郷理事

ドイツ大使を迎えて

高崎市 須郷登世治

群馬の地にドイツ大使夫妻をお迎え出来たことは、群馬日独協会なればこそ出来た事でありました。平形会長を中心に皆様の一致団結した成果と言えましょう。ハース大使の終始ユーモアあふれる人柄に接し、さすがは大ドイツ国を代表する人物であり、日本人にはない、ゆとりと威厳を感じました。

5月29日は、伊香保の金太夫旅館の貴賓室において、大使ご夫妻と夕食を共にする光栄に浴しました。大使夫人は、日本に来て1年半とのことですが、食事の時の箸の使い方などすっかり日本式なのは感心しました。平形会長は、和服姿にて、扇を開いての舞いを披露され、ドイツ人には伝統的な日本文化の一端と感じられたことと思います。大使ご夫妻に対して、ドイツの歌をドイツ語で唄ってみました。また、ドイツ語で、「私が、学生時代に心の奥に考えていたことは、国を救うものは軍人や大砲ではなく、外交官であると思ひ、国際法や外国憲法をとくに研究していました」、と語って見ました。大使も、シュルテ様も、私のドイツ語をじっくりと聞いて下され、うなずいておられました。この席には、地元、伊香保の町長と議長、渋川市の市長と議長も同席されました。その夜は、別室で、平形会長と二人でゆっくり休みました。平形会長とは、海軍士官の同期ということ、二人だけで海軍時代の想い出も話しました。

5月31日の総会においては、ドイツ写真集の「日本語訳」を大使に謹呈することが出来ました。これは、去る2月、帝国ホテルにおいて、ケンシャー外相に渡した拙著「ドイツ憲法の解説」の返礼としてドイツ大使館から送られる「DEUTSCHLAND」なる写真集で、240ページもある大冊ですが、日本語訳がないので、写真を楽しみながら日本語に翻訳していましたが、大会までに完成しようと、夜中にも起きて辞書との格闘を続け、クシャミをしながら、やっと完成、そのカラーコピーを製本し、「ドイツ政府の立場から「日本語版」を出版して戴きたい」と、私の翻訳原稿を謹呈した次第です。

ロイヤルホテルにおける夜の歓迎会では、にこやかな大使ご夫妻を囲み、なごやかに食事をしながら、楽しい一時を過ごすことができました。終わりになって、突然、平形会長から、万歳三唱の音頭をとれとのこと。びっくりしましたが、いっそうの日独親善を祈って、「アインス、ツバイ、ドライ！」と高らかに音頭をとって、「万歳 三唱」をして、散会しました。

平成3年度ぐんま日独協会決算書

収入の部		
項目	金額	説明
会費	1,023,500	円 会員会費 3,000円×92人=276,000円
		円 家族会費 500円×15人= 7,500円
		円 法人会費 10,000円×56人=560,000円
		円 平成3年度大会参加費 2,000円×90人=180,000円
雑収入	276,215	寄付金・利子等
繰越金	363,187	
計	1,662,902	
支出の部		
項目	金額	説明
会議費	352,136	円 平成3年大会費 230,000円
		円 会議費他 122,136円
通信費	62,705	郵便切手他
事務費	146,265	事務局借上げ・その他
印刷費	425,390	会報・名簿他
図書研究費	114,000	図書購入費他
講演会費	24,000	会場借上げ料他
広報	58,000	
計	1,182,000	

※3月31日現在 収入支出差引き残高 480,306円

'92.5.27 上記のとおり相異なし 黒田とめ子 ㊟

〃 古屋賀津子 ㊟

WILHELM HAAS大使の挨拶

Ansprache vor der Japanisch-Deutschen Gesellschaft
Gunma

am 31. Mai 1992

Anreden

ich möchte Ihnen allen zuerst sehr herzlich für den freundschaftlichen Empfang danken.

Dies ist mein zweiter Besuch in Ihrer schönen Präfektur. Vor zwei Wochen hat die Botschaft einen Betriebsausflug nach Ikaho gemacht und die Sehenswürdigkeiten und Köstlichkeiten der Provinz genossen. Nach übereinstimmender Meinung meiner Mitarbeiter sind die **udon** in Gunma nicht nur in Japan sondern weltweit unübertroffen. (Ich bitte, dies nicht meinem italienischen Kollegen weiterzuerzählen, der irrtümlich glaubt, Nudeln seien in seinem Land erfunden worden).

Ich sehe es als eine meiner wichtigsten Aufgaben als Deutscher Botschafter an, enge Verbindungen zu den Japanisch-Deutschen Gesellschaften zu pflegen. Daher freue ich mich, nach Begegnungen mit den Japanisch-Deutschen Gesellschaften in Tokyo, Kumamoto, Nagasaki, Sendai, Akita, Hokkaido und Morioka, mich nun Ihnen in der Präfektur Gunma vorstellen zu dürfen.

Die 40 Japanisch-Deutschen Gesellschaften sind die unentbehrlichen Pfeiler, auf denen die Brücke der traditionell freundschaftlichen Beziehungen zwischen unseren beiden Völkern ruht. Ohne diese Gesellschaften hätten diese Beziehungen keinen Halt. Sie würden sozusagen in der Luft schweben und nicht in den Herzen der Menschen verankert sein.

Wie tief das enge deutsch-japanische Verhältnis in Ihrem Volk verwurzelt ist, habe ich feststellen können, als ich am 3. Oktober vorletzten Jahres zahllose Glückwünsche zur deutschen Wiedervereinigung erhielt. Ich moine, daß kein Volk in der Welt so herzlich die Freude der Deutschen über die Beendigung der Teilung Deutschlands mitempfunden hat wie das japanische. Ich möchte Ihnen auch an dieser Stelle für diese Bezeugung Ihrer Mitfreude danken.

Das wiedervereinigte Deutschland hat seine Probleme. 45 Jahre Planwirtschaft haben die Wirtschaft und die Umwelt in Ostdeutschland zerstört. Und 45 Jahre kommunistischer Diktatur haben bei den Menschen in Ostdeutschland die Eigeninitiative und die Bereitschaft, Verantwortung zu übernehmen, geschwächt.

Es wird teuer sein und länger dauern als angenommen, um den Lebensstandard Ostdeutschlands an den Westdeutschlands anzugleichen. Und es wird auch länger dauern als angenommen, bis die Menschen im Westen und Osten Deutschlands wieder ganz miteinander vertraut sind.

Deutschland wird sich hin in diesem Jahrzehnt und darüber hinaus sehr stark mit sich selbst beschäftigen. Schon deshalb ist die Sorge mancher seiner Nachbarn unbegründet, Deutschland könnte übermächtig werden. Es besteht keine Gefahr eines neuen Nationalismus in Deutschland. Seiner gewachsenen Verantwortung will mein Land nicht mit einer nationalistischen Politik, sondern innerhalb eines immer mehr zusammenwachsenden Europas gerecht werden.

Über die Frage, wie Deutschland seine größere Verantwortung in der internationalen Politik wahrnehmen soll, wird in meinem Land eine Diskussion geführt, die der in Japan sehr ähnlich ist. In unseren beiden Ländern herrschtja die—aus Erfahrung geborene—Überzeugung vor, daß Gewalt zur Durchsetzung politischer Ziele ausgeschlossen werden sollte.

Auf diesem Hintergrund werden gemeinsame Überlegungen unserer beiden Regierungen über ihre Aufgaben bei der Bewältigung der Probleme, denen sich die Menschheit heute gegenüber sieht, immer wichtiger. Die Begegnung von Ministerpräsident Miyazawa mit Bundeskanzler Kohl Ende April in Bonn und der Gegenbesuch des Bundeskanzlers in Tokyo im Oktober dieses Jahres sind Beweise dafür, daß unsere Regierungen noch enger zusammenarbeiten wollen.

Die Voraussetzungen dafür sind gut. Japan genießt höchstes Ansehen in Deutschland als Partner und auch als Konkurrent. "Konkurrent" hat in Deutschland keinen schlechten Klang. "Japan-bashing" ist in Deutschland unbekannt, ebenso unbekannt wie "Germany-bashing" in Japan.

Die Japanisch-Deutschen Freundschaftsgesellschaften können einen großen Beitrag dazu leisten, daß dies auch in Zukunft so bleibt. Ich bitte Sie, die Mitglieder der Japanisch-Deutschen Freundschaftsgesellschaft Gunma, sehr herzlich darum, meinem Volk Ihr Wohlwollen zu erhalten.

〔日本語訳文〕

本日は暖かくお迎えいただき、家内と共に心からお礼を申し上げたいと思います。

この風光明媚の地、群馬を訪れますのはこれで2回目です。2週間前に大使館の職員旅行があり、伊香保の観光名所や名物を堪能したところです。大使館の職員が一致して申しますには、日本で、いや世界においても、群馬のうどんに勝るものはないということです。（ただ、このことはイタリア大使には内緒にしておいてください。麴類は自分の国で発明されたものと堅く信じ込んでいるものですから。）

日独協会との緊密な結び付きを育成することは、ドイツ大使として重要な仕事のひとつと心得ております。そのため東京、熊本、長崎、仙台、秋田、札幌、盛岡といった各地の日独協会を訪れた後、本日群馬県の皆様の前でご挨拶できますことを嬉しく思っております。

群馬日独協会4周年おめでとうございます。

40もある日独協会すべてが欠くことのできない支柱であり、その上に日独両国民の間の伝統的友好関係という橋が架けられているのです。日独協会がなければ、この関係も支えを失ってしまいます。そうなれば、いわば宙に浮くだけで、人の心に根を下ろすことはないでしょう。

一昨年の10月3日にドイツ再統一へのご祝辞を思ってもみない程多数頂戴しましたが、その時あらためて、日独の緊密な関係が日本の皆様の中いかに深く根を張っているかが確認できました。世界中で日本の国民ほど、ドイツ分断の終結をドイツ人と一緒になって心から喜んでくれた人々はいないと思っています。この場をおかりして、皆様が示された共感に御礼申し上げます。

再統一になったドイツにはそれなりの問題があります。45年にわたる計画経済は、東部ドイツの経済と環境を破壊してしまいました。そして45年にわたる共産党独裁は、東部ドイツの人々から自発性と責任を負うのをいとわぬ気持ちをかかなり弱めてしまいました。

東部ドイツの生活水準を西部ドイツ並みにするには、予想されていた以上に高くつき、しかも時間がかかるでしょう。そしてまた、東西ドイツの人々が再び互いに堅く信頼し合えるようになるまでには、思っていた以上に時が必要でしょう。

そのためドイツは、90年代及びその後にも自らの問題に一層取り組んでゆくことになりましょう。ドイツはあまりにも強力な国になりすぎたのではという懸念を、多くの近隣諸国が抱いていますが、このような理由からそれはまったく根拠のないものなのです。ドイツで新たなナショナリズムが頭をもたげる危険はありません。我が国はその増大した責任を果たすのに、国家主義的な政治などにはならず、統合に向けて一步一步前進してゆくヨーロッパの中で行うつもりです。

その大きくなった国際的責任を世界政治の中でどう果たして行くのか、という問題について、ドイツで議論が行われておりますが、その議論は日本と非常に似通っております。日独両国では経験から生まれたある信念が主流を成しております。すなわち、武力を政治目的達成の道具にすべきではない、ということです。

このような背景のもと、両国政府が協調して、今日人類が直面している諸問題解決のため、自らの役割について考えを巡らすことがますます重要になりつつあります。4月末ボンでの宮沢・コール首脳会議、そして今年10月のコール首相の日本訪問、これらは両国政府がさらに緊密に協力し合うとする表れです。

そのための状況も整っています。日本は、パートナーとして、また競争相手として、ドイツでは高い評価を得ております。「競争相手」という言葉にはドイツでは悪いニュアンスはありません。日本に「ドイツたたき」という言葉がないように、ドイツにも「日本たたき」という表現がありません。

このような関係が今後も続くように各日独協会は大きな役割を果たすことができます。群馬日独協会の会員の皆様方には、我が国に対し今後も変わることないご好意を示していただきますよう、心からお願いいたします。



左から大使・シュルテ参事官・大使夫人・藤田夫妻
「シルクフラワー」藤川喜子作に笑顔の大使夫妻

※ユーモアの後ろにある

素顔が見えた

高崎市 朝雲久見臣

近頃の巧みな話術家について私は少し疑問を持っている。聴衆を笑わせるコツは、落語家達の専売といった時代は過ぎて、花ざかりの講演会における講師の、やたらに発するユーモアの多さに実は辟易している。所がこれも人気のパロメーターになっているらしい。^{ハルツ} 作家の笑いは話術と仕草と内容にかけた厳しい修練があるからこそ、聴く人を引き込んで笑いを誘うのである。マジメな話にはユーモアを挟みこむスキ間もない。ほんの僅かの間合いにも、きめ細かい素材を使って、人々のプラスになる文化性を考えるからである。

今度のぐんま日独協会創立記念大会と、「大使を囲む夕べ」のなかで、「ユーモアの後ろにある素顔」というものをハース大使から発見できたことは、大変うれしいことであった。

ドイツ・フォーラムで質問したKさんの「地下運動場で遊ぶドイツ幼稚園のこと」について答えたハース大使の言葉には、驚きと共に敬意を感じさせられた。状況の説明、交通公害の現状とその対策、この部門における日本とドイツの比較などについて、熱心に説き明かしてくれたものである。素朴な質問にもかかわらず、ハース大使とシュルテ参事官の顔には、真剣そのものの「答える姿勢」が強うかがえた。自国の大使がこうした場合にどんな回答をするだろうか、ふとそんな場面を想定して思わず首をすくめたものである。

ユーモアと機知をほどよく交えた大使の、夜のパーティーにおけるスピーチを聴きながら、誠実とか、真摯とか、合理性とか一つつまり、人間の真剣さの裏側に光るユーモアの楽しさと、大切さを深く教えられた。

すぐれたドイツの指導者の一人に相見^{あひま}見える機会のできた「ぐんま日独」の会合に、喜びをかみしめながら、私はいま、盛んな拍手をこの集いに送りたいと思っている。

('92・6・12)

※珠玉の様なつどいに

恵まれて

前橋市 古屋賀津子

午後からずっと続いた総会、パーティ等スマートで簡潔な角田議長先生の簡潔な運びに依って終り、何か幸せな気分で、ロイヤルホテルにおける「ハース大使ご夫妻を囲む夕べ」迄。本当に楽しいものでした。それは、あたかもよい匂いに満ちた花々に囲まれて過した半日と言った気分でした。

いくらドイツを心から愛している人々に囲まれて居るとは申せ、主賓としてはずいぶんお疲れに成られた事と察せられますが、それを少しも感じさせない様な大らかさと、ゆとりをもってユーモアをまじえて私達に接して下さるなどやはり大人物だと、今更乍ら、感じ入りました。美味しいごちそうを共に食べる楽しさもさることながら、スライドを二度にわたるなど、上手に組みこまれたプログラムを、多勢の人々の心をひきつけて、運んで行くさりげない中にも人の気持ちを大切に考えて下さる平形名会長先生の巧まざる偉大さに依ることでしょうと思います。

このように良い時をごいっしょに、持たせて頂いて、本当にありがとうございました。終りに前橋でも沼田のようにドイツ語を初歩から教えて下さる様な機会が、会員の中から盛り上げて頂けるなら本当に嬉しいと思うのは我儘なのぞみでしょうか。



※「ガラム」島

前橋市 小野里光明

ぐんま日独協会が創立されて、4週年の記念大会が盛大のうち有意義に終了したことは関係者のご労苦とそのご努力に敬意を表してご同慶の至りと存じます。しかもご多忙のところ駐日ハース大使夫妻を迎えられたことは錦上華を添えられ本当に有意義だったと思います。

国際親善が滲透しつつあります。

私は独逸については特に思い出が深いものがあります。大東亜戦争終結と同時に、武装解除、捕虜生活と続きます。ジャワ、スマトラの捕虜が集結されたのが、シンガポールのすぐ南にある「ガラム」島です。そこで「タロイモ」を植える為、農業のまねをしたのです。ゴム林の中に、さくを掘り栄養失調の身体で鋤を握ったものでした。そのゴムの樹は第一次世界大戦で、25年前に独逸の捕虜が植えたものです。亭々として5米位延びています。「日独伊」防共協定等を考えて、うたた感慨無量のものがありました。

「ガラム」島では、この度国民栄誉賞に輝いた、歌手の藤山一郎氏も捕虜生活をしておりました。

あれから26年、経済大国となった日本と独逸のことを思うと隔世の感がします。我国も「生活大国」を目指し独逸をはじめ世界各国と協調し合い、指導的にならなければならないと痛感しているところであります。

末筆ですが、ぐんま日独協会のご発展を心から祈っております。

おめでとう草津町

事務局長 佐藤 進一

今年草津町がドイツのバイティヒハイム・ビツシゲン市と姉妹締結してから30年になる。バイティヒハイムはベルツ博士の生れ故郷であり、草津町では博士を偲んで早くから国際交流を行っていた。現在国際交流は国民生活の合言葉となっているが、30年前これを実施した草津町は、正に先覚者と言うべきである。バイティヒハイムは隣接のビツシゲンと合併しているため、表記の様な長い名称となっている。

5月21日(休)午前10時天狗山レストハウスに於て、中学生吹奏楽団の両国歌演奏により、記念式典は開かれた。山本巖町長の歓迎の式辞を受け、リスト市長は随員30名の市議会議員を代表して挨拶を行なった。来賓として群馬県知

事代理横沢国際交流課長及び駐日ドイツ大使代理シェラー書記官が夫々祝辞を述べた。中沢清元町長の乾杯の音頭で祝宴に移り、和やかな交歓が展開された。尚草津町ではこの日チェコのカルロビバリとも姉妹締結をした。



式典会場風景(撮影・佐藤事務局長)

◆「ドイツ語会話」講座を終えて

沼田ドイツ語会 角田 勤

全くの初心者を対象とした、ライマン先生の「やさしいドイツ語会話」講座も7月20日、無事終わりました。

5月18日、40人の生徒で始まった授業（毎月曜、全10回）は、脱落する人も少なく、途中から入会する人も10数人程あり、そのほか沼田ドイツ語会の有志も15人位参加して大変な盛況でした。

講師のライマン先生は、ゲーテ・インスティトゥートでの名物教師だったそうで、その教え方は実に面白く、巧みなチェスチャーを交えて、生徒を飽きさせません。「難かしいけど、楽しい、ドイツ語は面白い」という評判が多かったようです。

最近、沼田地方ではドイツ人との交流が盛んになり、ドイツやドイツ語への関心が高まって来ております。私たちのドイツ語会では、「ドイツ人とのコミュニケーションはドイツ語で……！」をモットーに学習を続け、また地域に「ドイツ好き」を増やしたいと考えております。

希望者が多いため、秋の講座を再開することにしました。講師は、アレキサンダー・フォン・アルテンシュタット先生（バイエルン出身、沼田在住）です。

どうぞ皆さん、ふるってご参加下さい。

ライマン先生の「やさしいドイツ語会話」
『テキストとカセットテープ』
実費（¥1500 送料サービス）でお分けいたします。
ご希望の方は下記へお申し込み下さい。
378 沼田市坊新田町甲1111
角田 勤
☎0278-22-3232

♣ クイズ ♣ 単語4文字のうち、1字のみを変えていき、ゴールへ到着して下さい。

(例) Band → Bund → Mund → Mond ……………→
バンド 同盟 口 月

【問題】

- Kind
- ① ヒント：日本では「モー」、ドイツでは「ムー」？と鳴く。
- ② ヒント：結婚○○
- ③ ヒント：さじき席という意味もある。
- ④ ヒント：現在では普通 Lied という。
- ⑤ ヒント：水戸泉を思い出す。
- ⑥ ヒント：ベルリンの○○（Mauerではない）。
- ⑦ ヒント：台風はこれが恐い。
- Kind

※答えは8ページです。

(沼田ドイツ語会出題)



ライマン先生の授業風景
(撮影・角田勤副会長)

◆愛すべきライマン先生

館林市 対馬 良一

「この缶ビールに前橋市制施行100年記念のラベルがついているが、これは群馬のビールですか？」。大柄なハース大使に質問された。サントリービール社より御恵贈いただいた缶ビールを飲んだ時の事である。私は群馬県には麒麟ビール・サッポロビール・サントリービールなど大手ビール工場があります。と答えますと、「群馬県は水質が良いのかね…」と美味そうに飲まれていた。5月31日のぐんま日独協会記念大会のレセプションの会場での事でした。「日本のビールはうまい……」外国から来た各国の人々がそう言います。ビールの酵母が良いのか、アルコール度が多いのか少ないのか、専門的な事は判りませんが非常に評判がいい。沼田の知人、古藤さん宅に4ヵ月間滞在したライマン先生も日本ビール党の1人でした。5月の連休にライマン先生とサントリー利根川ブルワリー工場を訪問した。連休で工場の生産ラインは停止していたが私達2人のために女性の方が案内してくれた。近代的で清潔な工場、珍らしい世界のビールの展示ルームなどを見学し帰りにはビールのお土産まで頂き感謝の気持で一杯でした。ライマン先生は4ヵ月間の滞在中に沼田ドイツ語会で10回の初級ドイツ語講座を行ない、高崎、渋川方面からの受講生を含む大盛況でした。群馬にはいかにドイツファンが多いか判りました。札幌で私の同窓会が開かれるのを機会にライマン氏と車で北海道に行く事にした。仙台、苫小牧間の船旅は快適でした。船中でのゲーム・カラオケ大会など行なわれ、ライマン先生も得意のピアノを弾いて大喝采をあげ記念にTシャツをいただき大喜びでした。また北海道の白老のアイヌ村を見学したり異国の地での旅行を楽しみ8月26日沼田駅より沼田ドイツ語会の角田会長はじめ多くの人に見送られて帰国された。

先日ライマン氏よりの手紙にフィルムの編集整理に忙しい毎日をご過ごしていると事です。ドイツ人には小柄な体軀だが禿頭で大きな目、頑固な性格・我が愛すべきライマン先生、初秋の今頃は美しいポーデン湖のほとりをお孫さんと散歩しているかそれとも好きなビールを飲んでいるかも知れません。ドイツへ旅行をする方はライマン先生宅を一度訪ねて下さい。きっと沼田の天狗のお面や高崎の少林山ダルマを見せながら大歓迎してくれる事と思います。

ライマン先生の住所
Dr. ALbert Reimann
Schubertstr. 5
D-7760 Radolfzell
Deutschlan
Tel. in Deutschland; 0-7732/7372

◆会員紹介

「タウトの竹皮編みに魅せられて」

箕郷町 高橋美江さん

「7年ほど前まで新潟の山村で、昔から自然の素材を上手に自分たちの生活に取り入れている人たちの調査をしていたんですが、そうしている内に「自分でも何か作ってみたい、と思うようになったんです。そんな時に「タウトと高崎の竹皮編み。の事を知ったんです。これだ。と思いましたね。」竹皮編みとはドイツの建築家ブルーノ・タウトがデザイン指導し、昭和30年頃まで高崎で盛んに作られていた竹皮製日用品でイワスゲ、チガヤなどを芯にして竹の皮で編み、しっかり針で縫い込んで巻いていく、これを作ろうとしている形にまとめて制作する。

こうした一方で高橋さんは、ボランティア活動にも積極的に参加している。複数の社会福祉関係の団体に所属し、主に心身障害者に対する社会復帰に協力している。

我々も群馬日独の仲間である高橋さんの、こうした八面六臂の活躍に心からの支援を送り続けたいものである。(取材 宮城村 北爪和男)



◇利用案内◇

開館 午前9時から午後4時30分まで
(日曜・祝日は開館)

休館 ①毎週月曜日 ②祝日の翌日

所在地 〒779-02 鳴門市大麻町檜字東山田58番地の2(大麻比古神社西隣)

電話 08868-9-1238

魅せられて、鳴門市ドイツ館、ドイツ橋

伊勢崎市 石川 光

5月のある日、私はふるさとの城下町、徳島の脇町から車で1時間、鳴門市・阪東のドイツ記念館に行ってきました。鳴門の大麻比古神社にドイツ兵のつくったドイツ橋がある等、きいてはいたのです。

昭和47年5月完成の、十五世紀風のドイツ民家を模した白い館は、四国の鳴門東北部、大麻山と谷の、そう、この神がかつた限りない緑の広がり、ザルツカンマグートへのアルトの中に、日の丸とドイツ国旗をひるがえし、メルヘンティックに建っていました。

現在、鳴門市では歴史の友好を記念して、活発な日独親善事業が行なわれています。ぜひ一度、いらして下さい。

須田要 理事急逝

本会設立以来理事を御引受け下さった先生には、去る8月4日、心不全の為急逝された。熱情多感、お世辞ぬきの先生の御生前を偲び、心から御悔やみ申し上げます。
(会長 平形義人)

INFORMATION

竹皮編教室
いつでもどうぞ(但、水の午後以外なら)
「でんえもん」
群馬郡箕郷町大字芝922 Tel. 0273-71-7471



☆ 竹皮編を楽しむ会
高崎中央公民館
毎月第3日曜日
午後1時半～4時半

☆ 高橋美江個展
11月1日～8日
前橋・でくの房
講習料 千円

ドイツ大使からの礼状

Sehr geehrtes Herr Hirabata,

ich möchte Ihnen - auch namens meiner Frau und Dr. Schultes - sehr herzlich dafür danken, daß Sie und Ihre Japanisch-deutsche Gesellschaft uns so unvergeßliche Tage in Ihrer schönen Präfektur bereitet haben. Das gesamte Arrangement, von der Vortragsveranstaltung über das Abendessen bis zum Besichtigungsprogramm und dem erholsamen Teil, war ganz vorzüglich. Es hat uns die Lobendigkeit Ihrer Freundschaftsgesellschaft bewiesen und zugleich einen ersten Einblick in die vielen Sehenswürdigkeiten Ihrer Präfektur geboten.

Würden Sie bitte unseren Dank auch den vielen Persönlichkeiten übermitteln, die sich um uns und unser Wohlbefinden soviel Mühe gemacht haben.

Mit sehr freundlichen Grüßen

*Ich bin ich stets Ich
Wilhelm Haas*

★めぐり合い、えにしの糸に結ばれて、

などなつかしき、とつくにの人…。

(古屋賀津子)

【訳文】

此度、御地群馬県にて忘れがたい日々を過ごさせて下さいました平形会長並びに貴日独協会の皆様、案内並びにシュルテ参事官にも代わりまして厚く御礼申し上げます。講演会や夕食会、各所見学、そして休養に至るまで滞在中のプログラムは全て大変魅力に富んだものでした。貴協会の活気を改めて感じると共に、県内の数々の名所を初めて知る良い機会となりました。

私共の快適な滞在の為にお骨折りを頂きました沢山の方々にもどうか感謝の気持ちをお伝え頂きたく存じます。

ドイツ連邦共和国大使
ウィルヘルム・ハース
(署名)



四周年大会当日
大使夫人(中央)
藤田夫人(左)
田口理事(右)
(前橋バラ園)

- ※クイズの答
- | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① Kind | ② Rind | ③ Ring | ④ Rang | ⑤ Sang | ⑥ Sand | ⑦ Wind |
| Kind | ウシ | 輪 | 地位 | 歌 | 砂 | 風 |